

BIQ 統合リスク分析ツール

事業継続、情報セキュリティ、および、品質の観点から業務リスクを分析し、これをもとに業務改善をするための支援ツールです。

ツールが必要とされる背景

(1) 品質管理やセキュリティ管理に対する全体最適化の要求

上流工程から下流工程までにわたる全工程のリスクを俯瞰することができるので、これに基づいた全体を最適化した管理が容易になり、対策費用の配分も最適化され、結果としてコストの削減や対策に対する実効性の向上が期待できるようになります。

(2) 業務を継続もしくは早期復旧させるためのBCP（事業継続計画）に対する実効性の要求

– 経営資源相互の各種依存関係を考慮したシミュレーション機能により、具体的な被災状況を可視化することができるため、より実効性のあるBCPを策定することが可能となります。

– 全社で同一の被災・復旧状況を共有することができるため、これをもとに各拠点で作成したBCPは、結果として全体最適化されたものになり、実効性が確保できるようになります

主な機能

(1) 業務と業務で使用している経営資源、および、相互の依存関係を可視化します。

– 物品の流通経路やデータの通信経路の可視化に威力を発揮します。

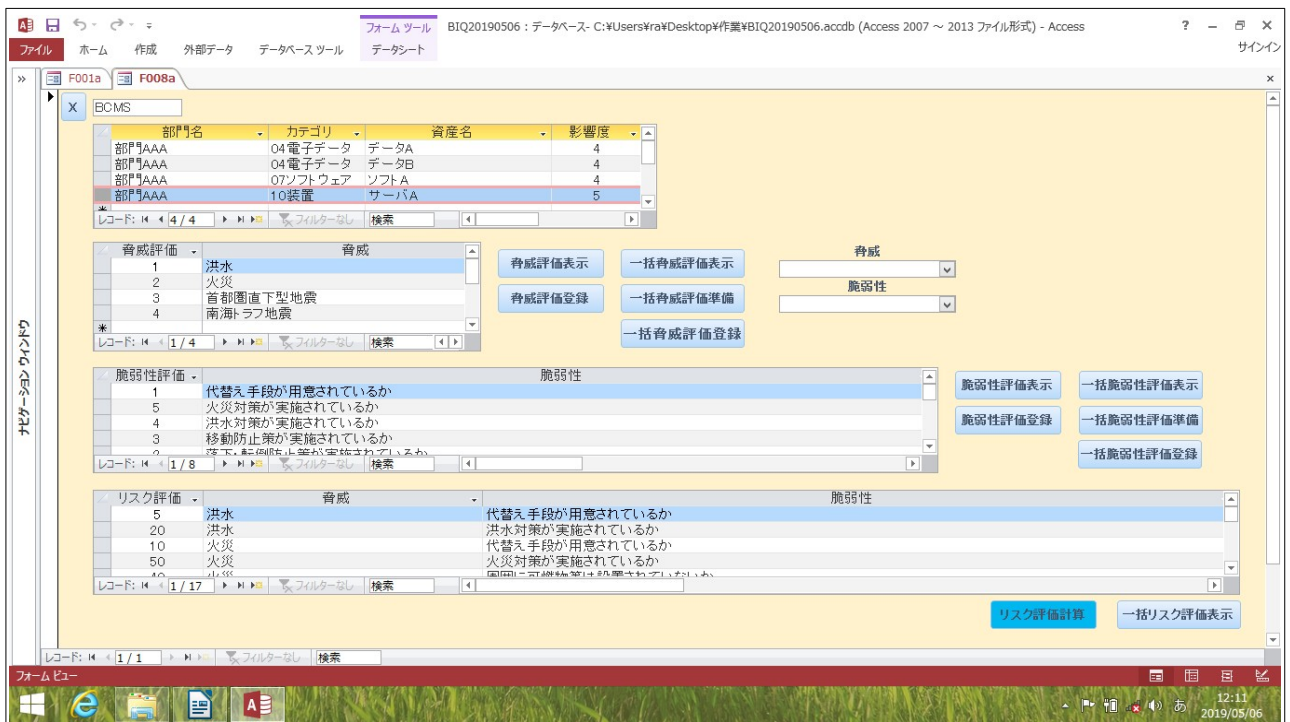
The screenshot displays the BIQ Integrated Risk Analysis Tool interface. It features a main window with several panels and tables. The top panel shows a list of departments (部門名) and assets (資産名) categorized by business (事業). The middle panel shows a table of dependencies (依存関係) between assets, including columns for department name, category, asset name, dependency level, and dependency group. The bottom panel shows a table of assets with columns for department name, category, asset name, and dependency level. The interface includes various buttons for actions like 'Asset Registration' (資産登録), 'Asset Update' (資産更新), 'Asset Deletion' (資産削除), and 'Dependency Registration' (依存先資産登録).

(2) 事業継続リスク、情報セキュリティリスク、品質リスクを体系的に評価します。

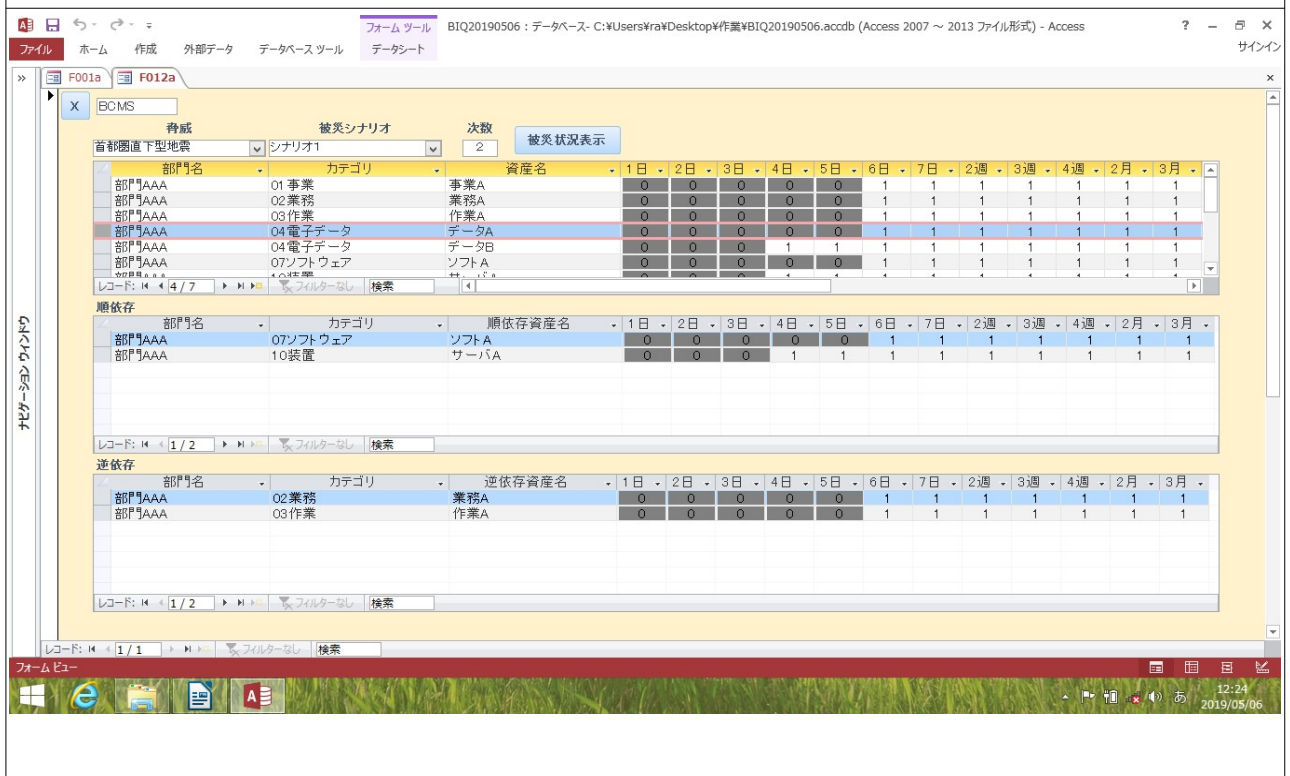
– 事業継続リスク評価の枠組みは、ISO22301に準拠しています。

– 情報セキュリティリスク評価の枠組みは、ISO27001およびISO27701に準拠しています。

– 品質リスク評価の枠組みは、ISO9001に準拠しています。



- (3) 災害時における被災状況を具体的に可視化します。
 - 複数拠点に跨る影響範囲の特定に威力を発揮します。



機能一覧

1	部門登録	組織の部門名を登録します
2	資産/依存関係登録	組織の事業、業務、作業や部門で使用もしくは管理する経営資源及びそれ

		らの相互依存関係を登録します。
3	一括資産登録	組織の事業、業務、作業や部門で使用もしくは管理する経営資源をエクセル帳票形式で一括登録します。
4	一括依存関係登録	組織の事業、業務、作業や部門で使用もしくは管理する経営資源の相互依存関係をエクセル帳票形式で一括登録します。
5	影響度評価	事業継続、情報セキュリティ、品質の観点から経営資源の影響度を評価します。
6	パターン属性登録	経営資源の種類ごとに脅威と脆弱性の組み合わせをパターンとして登録します。
7	パターン所属登録	パターンと経営資源の対応関係を登録します。
8	詳細リスク評価	経営資源ごとに脅威と脆弱性を評価します。
9	ベースライン評価	組織の脆弱性を評価します。
10	原因/影響分析	事業、業務、作業で使用する経営資源のうち、事業継続リスクの高い経営資源を特定します。
11	目標復旧指標設定	災害時における事業や業務の目標復旧指標を設定します。
12	被災シナリオ設定	災害時における経営資源の稼働停止時間（復旧時間）を設定します。
13	復旧計画検討	被災シナリオ状況下における復旧計画を検討します。
14	被災状況分析	被災シナリオ状況下における被災状況を分析します。

販売条件

弊社のBCP策定支援サービス、もしくは、ISMS構築支援サービスをご利用いただきましたお客様を対象とさせていただきます。

価格

¥600000～	価格は年額使用料となり、使用する機能と登録する要素数に依存します。
----------	-----------------------------------

導入トレーニング

¥600000	新規購入時は必須です。 期間は3日です。 講師の交通費や宿泊費は、別途実費請求させていただきます。
---------	---

稼働環境

Windows10 以上
Access2013 以上

